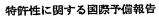
REC'D 0 3 MAR 2005

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

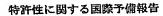
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

、 (PCT36条及OPC17			
出願人又は代理人 NTK03-156 の書類記号 0WO	今後の手続きについては、	様式PCT/IPEA/416を参	照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/13249	国際出願日 (日.月.年) 16.10,2003	優先日 (日.月.年) 21.10.	2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B25J 9/0	06 7/00 A61B	19/00	
出願人 (氏名又は名称) 土肥 健純			
1. この報告書は、PCT35条に基づ 法施行規則第57条 (PCT36条)	Sきこの国際予備審査機関で作 の規定に従い送付する。	■成された国際予備審査報告である。	
2. この国際予備審査報告は、この表稿	我を含めて全部で3	ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付さ a	されている。 ページである。		
補正されて、この報告のA 囲及び/又は図面の用紙	基礎とされた及び/又はこの (PCT規則70.16及び実施約	国際予備審査機関が認めた訂正を含む 明第607号参照)	け明細書、請求の範
第 I 欄 4. 及び補充欄に 国際予備審査機関が認定	示したように、出顧時におけ した差替え用紙	る国際出願の開示の範囲を超えた補	正を含むものとこの
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示 プルを含む。(実施細則第	すように、コンピュータ読み 802号参照)	(電子媒体の 取り可能な形式による配列表又は配	の種類、数を示す)。
4. この国際予備審査報告は、次の内			
※ 第Ⅰ欄 国際予備審3	資報告の基礎	·	
第11 概 優先権	生性なな変素 トの利用可能性	についての国際予備審査報告の不作	戏
	de on freshin		
	条(2)に規定する新規性、進力	特別は主義との利用可能性について	の見解、それを殺い
けるための	文献及び説明 用文献		•
第VI欄 国際出願の	不備		
第四個 国際出願に	対する意見		
国際予備審査の請求書を受理した日 15.04.2004		際予備審査報告を作成した日 07.02.2008	5
名称及びあて先	特	許庁審査官(権限のある職員)	3C 9133
日本国特許庁(IPEA/		佐々木 正章	<u> </u>
郵便番号100-89	15		
東京都千代田区段が関三丁	日4来3县	話番号 03-3581-1101	内線 3324



国際出願番号 PCT/JP03/13249

Long Act the activity	
第1欄 報告の基礎	
1.この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の含語を基礎とした。	•
 この報告は、 語による翻訳文を基礎とした。 それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。 □ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 □ PCT規則12.4にいう国際公開 □ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査 	
 2. この報告は下記の出願傳類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づ た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)	く命令に応答するために提出され
出願時の国際出願書類	
明細書 ページ、 出願時に提出されたもの 第 ページ*、 付けて 第 ページ*、 付けて	・国際予備審査機関が受理したもの ・国際予備審査機関が受理したもの
請求の範囲 項、 出願時に提出されたもの 第	Eされたもの で国際予備審査機関が受理したもの で国際予備審査機関が受理したもの
図面 ポージ/図、 出願時に提出されたもの (サージ・グラング) (サージ・グラング	で国際予備審査機関が受理したもの で国際予備審査機関が受理したもの
 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。 3.	
□ 配列表 (具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) □ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した本えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成し	正が出願時における開示の範囲を越 た。 (PCT規則70.2(c))
明細音 第	
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。	,



国際出願番号 PCT/JP03/13249

見解		•
新規性(N)	請求の範囲 1-10	
進歩性(IS)	請求の範囲	有
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 <u>1-10</u> 請求の範囲	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求項1-10に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1 (WO 0 0/30557 A1 (CRODEXTERITRY SYSTEMS, INC.) 2000.06.02, & JP 2002-530209 A&EP 1133265 A) により新規性及び進歩性を有しない。

請求項1-10に記載された発明は、文献1 (WO 00/30557 A1 (CRODEXTERITRY SYSTEMS, INC.) 2000.06.02, & JP 2002-530209 A&EP 1133265 A)及び国際調査報告で引用された文献2 (WO 99/56595 A1 (AUTOMATION, INC.) 1999.11.11, &JP 2002-512900 A)により進歩性を有しない。